

人権施策基本方針等関連施策関係資料（暫定版）に係る事前質問等について

【資料1-1（R5年度関連施策実施状況（概要版）、資料2（R5年度関連施策実施状況（事業一覧）、資料3（R6年度関連施策（事業一覧）】

参考1

番号	資料名	質問対象箇所	事業所管課	質問等の内容（要約）	回答
1	資料1-1 資料1-2	「外国人」の「生活相談件数」 【資料1-1 P8・24、資料1-2 P19 No. 18、P73 No. 1】	国際課	5カ国語による相談件数の合計が「1,499件」と記載されているが、各言語別の相談件数の内訳も示していただきたい。	しが外国人相談センターでは相談員6名の対応言語の5カ国語に加え、翻訳サービスや機械翻訳等も活用し、全74言語が対応可能である。 令和5年度の相談件数の合計1,499件の内訳は、日本語383件・ポルトガル語499件・タガログ語240件、スペイン語236件、英語94件・ベトナム語43件・中国語3件・インドネシア語1件となっている。
2	資料1-2 資料1-3	障害者総合実務訓練事業 【資料1-2 P57 No. 14、資料1-3 P33 No. 13】	労働雇用政策課	令和5年度の達成度が「C」にも関わらず、前年度と同額の当初予算が特記事項に何の記載もなく計上され、前年度の事業を踏襲しているかのように読み取れる。達成度が「C」である以上、やや達成できなかった点（理由）がどの辺にあるのか、また「A」に近づけるためにも予算額は妥当な数字なのか、教えてください。	入校率が低迷しているため、目標未達成となっている。その主な要因としては、広報の不足や訓練内容等がニーズにマッチしていないこと等があると考えている。 入校率を向上させるため、ハローワークを始め関係機関への広報を強化する取組を行っているところである。また、ハローワークや関係機関への聞き取りを実施するなど、求職ニーズにマッチする訓練内容を検討し、今後入校率が改善できるよう取り組みを行って参りたい。 予算については、今後訓練内容等の見直し検討に併せ、適正な予算額にして参りたい。